

小さな声をもっと大きく!!

# 星山けんいち 市議会だより 平成27年秋号

宮崎市淀川2丁目1番4号  
Tel:0985-53-9007 Fax:0985-53-9001  
http://www.hoshiyama86.co.jp/hoshiken/



モットー  
**すぐやる!必ずやる!  
出来るまで本気でやる!!**

## ご挨拶

紅葉の候、皆様におかれましては、ご健勝のこととお喜びを申し上げます。9月議会も無事に終了し、青島地域複合型防災施設整備事業及び神武東征誘客キャンペーン事業を含む補正予算をはじめとする33件の議案も無事に可決されました。一般質問全体を通しては、地方創生への取組み、フェニックス自然動物園リニューアル計画、消防団支援や局舎建替え要望等の消防政策、動物愛護センター建設計画等の動物愛護政策、そして特別支援教育政策などが多く取り上げられました。また、議会終了後においては、市長より「宮崎市地方創生総合戦略」(素案)も提案されました。

最近の市議会の動きとしましては、議員定数6人減に伴う議席の変更および発言者席新設に伴う議場改修後の初めての議会となりました。発言者席の設置により執行部との距離が非常に近くなり、質問や答弁中の市長等の顔の表情もよくわかるようになり、緊迫感のある議論が交わされるようになりました。また、平成25年5月に制定されました議会基本条例に基づいて「議会報告会」の開催を行う実行委員会が発足し、私が実行委員長を仰せつかりました。来年1月の開催にはなりますが、「開かれた議会、わかりやすい議会」を目指して、開催要項等については今後検討してまいります。今後とも、市民一人一人の「小さな声をもっと大きく」市政に届けるために何事にも積極的に取り組んでまいりますので、変わらぬご支援ならびにご鞭撻を賜りますようお願いいたします。



## 視察・研修報告

◎先進地行政視察(文教民生委員会)  
(7月13日～15日) 大和市・関市・京都市

◎大和市「神奈川県」  
【調査事項】  
学力向上支援事業「放課後寺子屋やまと」の開催について

本事業は、放課後の小学校の空き教室等を利用して、児童の宿題や予習復習のサポートをすることにより、基礎学力の向上と学習習慣の定着を目的として行われていました。特色としては、学習支援は、教員OBのコーディネーター、教員免許有資格者の学習支援員、地域のボランティアが行い、児童の参加費は無料で登録制により参加できます。成果としては、学習習慣が身についたことにより、不登校の児童が再登校するための手助けとなるなど、学習によりコーディネーターとの信頼関係が構築できたことにより学習以外の相談にも乗ることができるようです。課題としては、コーディネーターの不足や開催が週3日のため児童クラブのほうに児童は多く集まるようでした。また、大和市の教員の平均年齢が26.5歳には驚きました。教員の育成も市としての大きな課題ではないでしょうか。



◎関市「岐阜県」  
【調査事項】  
しあわせヘルスプロジェクト事業について

本事業は、全ての市民が自ら健康づくりに取り組み笑顔で生き生きと生活できるまちを目指し、市民幸福度の向上と健康寿命の延伸の実現のために、市民の健康づくりの取り組みを支援するための事業展開を行うことを目的としています。事業としては、特定健診、がん検診などの健康づく

り事業へ参加することによってポイントが付加し、ポイントがたまったら応募者を対象に抽選会を実施するしあわせヘルスマイレージやウォーキング手帳を作成して100万歩を目指して毎日の歩数を記録し、達成者には認定証を授与するミリオンウォーキングなど7事業があります。各事業とも、工夫を凝らして事業費をあまりかけずに行っている点は感心しましたが、市民への認知度が低いせいか参加者が少ないのが課題ではないでしょうか。



◎京都市「京都府」  
【調査事項】  
京都動物愛護センターについて



本事業は、「人と動物とが共生できるようなおのりある豊かな社会」を実現するため、動物愛護事業の拠点施設を京都府と共同で行ったものです。主な役割としては、収容動物の管理と譲渡事業の推進や夜間動物救急診療所の開設などです。中でも譲渡事業に関しては、職員とボランティアが協働で犬の行動修正等を行う「京都方式」を採用し、譲渡の拡大に努めることにより殺処分ゼロに

向けた取り組みが大きく進展することが期待されます。その他にも子猫の一時預かり在宅ボランティア制度や京都動物愛護憲章を制定、犬や猫のマイクチップ装着を無償で実施できる制度も新設されており、全てにおいて先進的に取り組まれています。本市においても、平成29年4月に開設計画の動物愛護センターにつきましては、施設及び運営につきましては京都市を十分に参考とし、命の尊さを学習することのできる場となることを期待します。



◎先進地行政視察(議会運営委員会)  
(8月4日～8月6日) 倉敷市・奈良市・横須賀市

◎倉敷市「岡山県」  
【調査事項】  
一般質問・ICTの導入について

倉敷市では、一般質問については認めますが、議運の委員長については認めておりませんが、また、ICTの導入についてもICT化推進検討会を設置し、委員会や本会議において試行を行っていましたが、職員全員に對しての普及は難しく、紙資料も同時配布するなどペーパーレス化も思うように進行していません。



◎奈良市「奈良県」  
【調査事項】  
ICTの導入・委員会のインターネット放映について

ICTの導入については議会制度検討特別委員会において協議を重ねたうえで、議場や委員会室への持ち込みの試行が開始されていますが、パソコンやタブレットを使用している議員は5、6名程度に限られているようです。また、委員会のインターネット放映については、本会議や委員会、全員協議会の放映を行っている。議会の状況がいつでもだれでも把握できるように、市民からの会議録等への問い合わせも減少しているそうです。しかし、放映が公式記録ではないことの注意書きや発言の取り消し等ができないことなどが問題点としてあります。

◎神奈川県横須賀市  
【調査事項】  
一般質問・ICTの導入・委員会のインターネット放映について

横須賀市では、一般質問についてはこれまでに正副議長及び監査委員、議会運営委員長が質問を行った事例がないとのことでした。役職の職責を考慮したうえでの自粛ということでしょうか。また、ICTの導入については、議会での使用は不可とされていますが、メ

◎地方議員研修セミナー  
(7月31日) 東京都港区

【研修事項】  
地方創生、地域活性化にむけて

講師の樋渡啓祐氏は、佐賀県武雄市長を8年8ヶ月間お勤めになった経験を活かして、具体的な事例を挙げての説明は分かりやすく説得力がありました。官のいいところと民のいいところを組み合わせる仕掛けの必要性やスピード感を持った情報収集の在り方など、これからの議員活動及び議会一般質問に対して大変参考となりました。

